

福岡県西方沖地震から20年メモリアル講演会を開催

～20年目の節目に自然災害への備えの重要性を考える～

日本損害保険協会九州支部委員会(委員長:大塚 竜二 東京海上日動火災保険株式会社 専務執行役員)では、福岡県で発生した有史以来、最大規模の直下型地震である福岡県西方沖地震から今年で20年の節目を迎えるにあたって、改めて、巨大地震への備えを再確認いただくために、福岡市で講演会を財務省福岡財務支局・当会および福岡県損害保険代理業協会とともに開催し、52名もの方にご参加いただきました。

開会に際し、財務省福岡財務支局 松永 財務主幹から「大規模な地震が起こると被害が甚大になるため、政府が再保険を引き受け官民共同で運営する地震保険は大きな存在意義がある。本日の講演会を通じて皆様が地震保険を含めた防災について意識することを祈念する。」とのご挨拶をいただき、引き続き、日本損害保険協会九州支部 大塚委員長から、「福岡県の地震リスクおよび地震保険制度を中心に、地震発生時の経済的な備えを本講演で確認することが皆様の生活の安心と安全に資するものになればと考えている。」と挨拶がありました。

第一部講演では、九州大学 理学研究院 附属地震火山観測研究センター長 松本 聡 教授から「福岡の地震活動とその特徴」をテーマに、第二部講演では、東京海上日動火災保険株式会社 田中 由貴 氏から「地震保険について」をテーマにご講演いただきました。

閉会に際し、福岡県損害保険代理業協会 大塚 昭彦 会長から、「災害発生時に必要なことを具体的にイメージするためには正確な情報を知っておくことが重要です。本日の講演会を機に防災に関して家族や職場のみなさまと話し合っていたきたい。」と挨拶がありました。

日本損害保険協会九州支部委員会では、今後も行政や関係団体と連携し、自然災害リスクを的確に認識いただくとともに、地震保険を含めた防災・減災に関する知識の普及・啓発活動を行ってまいります。

◆講演会概要

○開催日時 2025年3月7日(金) 14:00~16:00

○開催場所 九州ビル 9AB 会議室

○参加費 無料

○セミナー内容

第一部

テーマ:福岡の地震活動とその特徴

講師:九州大学 理学研究院 附属地震火山観測研究センター長
松本 聡 教授

第二部

テーマ:地震保険について

講師:東京海上日動火災保険株式会社 福岡支店
田中 由貴 氏

○主催 日本損害保険協会九州支部 福岡県損害保険代理業協会

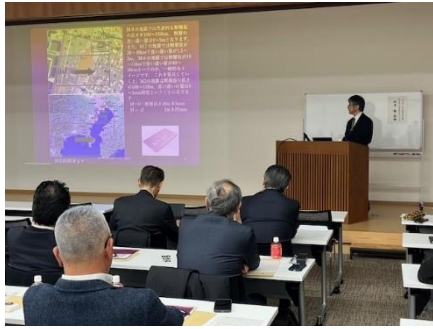
○共催 財務省福岡財務支局



大塚委員長による開会挨拶



松永財務主幹による挨拶



松本教授による第一部講演



田中氏による第二部講演



講演の様子



大塚会長による閉会挨拶